

炊き出し体験・応急手当講座に参加しよう！

「いつも防災」チェックシートで、身近な防災について確認したら、今度は、実践的な体験をしよう！！

地震や台風等の自然災害が発生したときに、どこの場所にいるでしょう。

お風呂に入っているとき

学校で授業を受けているとき



お家で家族と寝ているとき

友達と外で遊んでいるとき

チェックシートで確認したことは、お家でできる事前の備えです。準備しておいた防災グッズは、手元にないこともあります。救急箱なども近くにありません。

自然災害直後は、身近なものや手元にあるもので、身の安全を守る必要があります。その状況を想像し、少し体験をしてみましょう。詳細に関しては「参加にあたって」を確認ください。



~~(1) 炊き出し体験~~ **新型コロナ感染拡大の影響で中止となりました。**

~~内容：災害発生時に電気やガスなどが使えないことを想定として、お釜や井戸水を使用したご飯の炊き出し体験~~

~~日時：7月31日(日) 午前9時～12時~~

~~場所：鶴ヶ島市高倉の個人宅~~

~~定員：10人~~

~~対象者：小学生以上(小学生は保護者可)~~

~~締切：7月26日(火)~~

~~参加費：無料~~

~~協力：鶴ヶ島市赤十字奉仕団~~



(2) 自分で出来る応急手当講座

内 容：災害発生時や避難生活を生き抜くため、身近なものでできるとっさの応急手当法を学ぶ

日 時：8月23日（火）午前10時～12時

場 所：市役所 503, 504階会議室

定 員：20人

対象者：小学生以上（小学生は保護者可）、地域の活動者など

締 切：7月26日（火）

持ち物：①バンダナと②風呂敷または大きめのスカーフ

参加費：無料

協 力：日本赤十字社埼玉県支部から派遣される指導員
鶴ヶ島市赤十字奉仕団



※新型コロナウイルス感染症の状況により、体験内容等の変更をさせていただくこともあります。

※両講座とも、参加決定者には詳細を改めてお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康観察表の提出をお願いします。

プチ情報

地震が来たら机の下に……と考える方が多いのは、小学校の避難訓練で「地震が来たら机の下に隠れましょう！」と習ったからかもしれません。

それしか方法のない時や、時間がない時はそれでも良いと思います。

原則は、小さな揺れを感じたり緊急地震速報が来たら、安全ゾーンへ移動し、身の安全を確保することが大切です。安全ゾーンとは、転倒落下物の少ない、閉じ込められない場所なので、必ず机の下という訳ではありません。

阪神淡路大震災で現地取材した際、玄関だけ残っている家を多く見ました。玄関は比較的狭いところに太い柱が多くあるからです。

古い木造家屋の場合は、1階が潰れてしまう場合もあるので、机の下より、すぐに外に出られるようにドアを開け、外部へ脱出してください。また、古い木造家屋の2階にいる時に地震が起きたら、あわてて1階に降りないようにしてください。2階の方が、潰れても隙間がでやすく、助かる率が高いからです。昔は、「地震に強いのはトイレ」と言われていましたが、最近の家はほとんどがユニット形式で、太い柱がない場合が多いです。

壁に囲まれ、出入り口が一箇所のトイレでは、閉じ込められてしまう可能性もあるので、地震時にトイレにいる場合は、急いでドアを開けて、玄関などの安全ゾーンへ移動しましょう。